

学校だより

NO. 1 2

若葉っ子だより

平成23年11月10日
尼崎市立若葉小学校

心をひとつに 思いをこめて

子どもたちが今までの音楽の学習の成果を発表する音楽会がいよいよ、明後日12日(土)となりました。今年のテーマは、プログラムでご存じのとおり、「心をひとつに 思いをこめて」です。明日11日(金)は、児童鑑賞日で、1年生から6年生の全児童がお互いの発表を鑑賞します。「鑑賞」は「表現」となる音楽の大切な学習の一つです。自分たちが演奏する(表現)だけでなく、他学年の演奏を聴いてそれぞれの学年に応じた基礎的な鑑賞の能力を育てる場面でもあります。翌日の保護者鑑賞日と同じくらい気合いを入れてがんばります。

各学年の演奏内容について、少し紹介しておきましょう。

1・2年生は、「きつねのおきゃくさま」という音楽劇をします。ご存じの方も多いと思いますが、あまきみこ作「きつねのおきゃくさま」の物語で、歌や合奏に語りを交えたものです。物語は、腹ぺこ狐が、出会ったひよこ、あひる、うさぎを食べようとしますが、あまりに痩せていたので太らせてから食べようと、せっせと三匹の世話をします。そんなこととは知らない三匹は狐を「やさしいお兄ちゃん」「親切なお兄ちゃん」「神様みたい」と慕っていました。狐は三匹が「やさしいお兄ちゃん」「親切なお兄ちゃん」と言うのを聞いて、気持ちが変わってきました。そんなある日、くろくも山のオオカミが、ひよこ、あひる、うさぎの臭いを嗅ぎつけ、おそってきました。さあ、どうなったでしょう？ あとは、音楽劇をお楽しみに……

3年生のリコーダー奏はとてもきれいな音色が出ています。リコーダーは3年生からの教材ですが、とても4月から始めたとは思えないほどです。4年生は17人でのリコーダー奏で、練習時に2人欠席があると15人での演奏になるなど厳しい条件の中でがんばりました。3・4年生は、アルカイックホールでの市音楽会(11月18日)に、お馴染みの「ワーイ、エーム、シー、エー」のかけ声とふりを伴った合奏「ヤングマン」と合唱「海がきこえる」で出場します。特に、合唱では、高音部のすばらしい4年生の歌声をご堪能いただきたいと思います。

5年生の合奏「ソーラン節」は、和太鼓を中心に「どっこいしょ、どっこいしょ。」という賑やかなかけ声と共に軽快にとばします。練習中とはばしすぎることも度々…。若葉小学校で一番人数の多い36人の学年です。元気いっぱいの演奏をお楽しみください。6年生の合奏は「江(ガ)り～姫たちの戦国～」で、NHKの大河ドラマのテーマ曲です。初めて題名を聞いたときには、そんな難しい曲を本当に29人でできるのか？という不安がありました。さすが6年生です、日を追う毎に完成させてきました。

今年も職員演奏は、「もみじ」です。前回と同じ曲ですが、若葉小学校の校庭の紅葉にぴったりであり、また、子どもからお年寄りまでいっしょに楽しんで歌えることもあって選びました。教員だけでなく、調理師もそれぞれパートを受け持ち、楽しんで練習してきました。子どもたちと比べて覚えがイマイチで、感も鈍くなっている年齢も多いのですが、一生懸命さは子どもたちにも負けないつもりです。……耳でなく温かい目で見ただけだとうれしいです。

保護者の皆様には、子どもたちのがんばりに温かい拍手の励ましをお願いすると共に、若葉小学校の音楽会を子どもたちといっしょに楽しんでいただきたいと思います。

【読書週間について】

11月9日(水)には、毎年恒例の図書ボランティアの皆さんによるストーリーテリング。図書室を暗くして雰囲気を出し、ローソクを使って、子どもたちをお話の世界に引き込みました。10日(木)には、朝の若葉タイムの時間に図書委員が1～3年生の各教室で絵本の読み聞かせをしました。図書委員は年々、上手に読めるようになって、低学年の子どもたちは本当に絵本を楽しむことができました。図書室には子どもたちが楽しめるお話の本がいっぱいあります。本を読むことは、テレビやゲームとは違う、文字や言葉を通して、一人一人がそれぞれの想像をふくらませることができる楽しさがあります。漫画が悪いとは言いませんが、本離れを憂う今日この頃です…

11/10 絵本の読み聞かせ



【道徳・人権オープンスクールから】

アンケートの回答ありがとうございました。

- ・授業の内容を家でも話し合いました。私も子どもが言われてうれしい言葉が分かったので、「たくさん言えたらいいな。」と言うと、子どもも「たくさん言われるようにがんばる!」と頑張りました。
- ・途中からの参観でしたが、ビデオを使ってわかりやすかったです。
- ・子どもたちにとっては、大変良かったと思います。心ではダメな言葉と書いていても、実際、言葉を書いてみて、いい言葉と悪い言葉を再認識したと思います。
- ・人に対する思いやりは、持って生まれたものもあるでしょうが、言葉でいくら説明しても十人十色だと思います。やはり、大人が時々で子どもたちに見せる(手本になる)ことが大事なんだろうと思いました。
- ・言葉はエネルギーを持っているというお話は、そうだなと思います。人間はみんな異なった存在だけど、どうしたら仲良くしていけるかとか、子どもたちが寛容性を身につけていってくれたら楽しいだろうなと思います。
- ・(質問?) 5年生は算数の時、なぜ分かれて教わっていたのでしょうか?
→(回答)「若葉っ子だより No2」の「担任外の指導教科等について」で少しだけ触れておりますが、「個に応じたきめ細かな指導で学力を育む」という兵庫県の教育施策で、少人数授業の推進があります。本校では、個人差が大きく学力差が出やすい算数で、1学級を2つに分けて、学級担任と新学習システム教員が、教室と学習室に分かれて指導をしています。指導内容は法規で決められていますが、指導者が異なると指導の仕方も若干異なります。そのため、担任と打ち合わせをしたり、学期毎に交代したりしています。
- ・事前に全学年の時間割が分かれば、他の学年も参観できたかと思います。
→申し訳ございません。昨年度のオープンスクールは、前期と後期に3日ずつの実施で、時間割も全学年3日ずつお知らせしておりましたが、今年度は年間を通して1日ずついろいろな曜日に設定したので、当日玄関に全学年の時間割を掲示するにとどまっていた。次回は、前日にお配りします。

10/27 瀧村依里さんのバイオリンコンサート

